

第59期 由利中学校入学式を挙行



根 堀 台

第2号

37名爽やかに歩み出しました！

新入生入学の言葉は、三浦菜空(まひろ)さんが代表で行いました。返事といい、話し方といい、新



四月七日(木)、無事に令和四年度入学式を行うことができました。新入生確認では、担任の先生の呼名に爽やかな力のある返事がなされ、いよいよ中学生だという気概を感じることができました。式辞を述べる私に注がれる目は真つ直ぐで、とても眩しかったです。在校生歓迎の言葉は、三Aの榎本聡(そう)さんが行いました。先輩らしく落ち着いた声で、優しさに満ちたお話でした。

由利中学校 学校便り
令和四年四月十一日(月)
発行者 校長 今村 聡

中々、とても感心させら

さすが先輩!!

さて、この怒濤の集会の中で、とても感心させられた姿に驚きと頼もしさを感じました。

各種集会開催

ちよつとお疲れ?

八日(金)は、朝から一年生へのガイダンスとなる様々な集会が目白押しでした。もしかしたら、頭の中が飽和状態になってしまったかもしれない。でも大丈夫!実際に経験してみても、少しずつ覚えていきましょう。



歩み出した先には、いろいろな壁もあることと思います。後戻りは選択肢に入れず、乗り越えたり、迂回したり、時には壊したりしながら、頑張つて進んでいきましょう。

れたことがあります。

生徒会入会式では、プロジェクトを使って、生徒会とは?についてプレゼンしてくれたのですが、見ていて、聞いていて、非常に分かりやすかったです。これが、商談なら絶対契約ゲットしていたに違いありません。生徒会執行部の皆さんの優れた表現力を感じました。

学習指導についての集会では、授業中のこと、教科連絡のこと等々について、「劇団目黒」と名付けられた昨年度の学習委員(現三年生)が名演技で、視覚的に一年生に教えてくれました。

また、集会とは関係ないのですが、朝の登校時に自転車の置き場所が分からず困っていた一年生に二年生が優しく声をかけ、教えてやる姿が見られました。始業式でも、入学式でも、「思いやり」の大切さを話したところでしたので、たいへん嬉しい光景でした。

いい先輩たちです。